



福島の復興と 未来に向けて

会場：いわきワシントンホテル他

～シンポジウム、現地見学会のご案内～

主催：環境省、国立研究開発法人国立環境研究所 共催：経済産業省、福島県
後援（予定）：復興庁、（公社）福島相双復興推進機構、（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構

令和元年6月21日（金）13:00から

環境省では、従来からの環境再生の取組に加えて、昨年8月より、「脱炭素・資源循環・自然共生」といった環境省が得意とする政策分野において、福島の地元の取組みと連携・支援する「福島再生・未来志向プロジェクト」をスタートさせました。

本プロジェクトを、地域の皆様のニーズを踏まえて大きく発展させるため、プロジェクトの趣旨や、取組の現状についてご紹介するとともに、今後の進め方等についてご意見を伺うため、国立環境研究所と共同で、本シンポジウムや現地見学会を開催いたします。多くの皆様の参加をお待ちしています。

プログラム1

シンポジウム 6月21日（金）13時開会

【定員200名】

参加費
無料

いわきワシントンホテル3階 アゼリアB

（敬称略）

1. 基調報告

福島における環境の現状と課題

大原 利真（国立環境研究所 福島支部 フェロー）

新地町におけるスマコミ事業の展開

黒沢 知子（新地町 企画振興課 主任主査）

スマート都市からの地方創成のまちづくりへ

藤田 壮（国立環境研究所 社会環境システム研究センター長）

2. 福島再生・未来志向プロジェクトの概要

概要報告 峯岸 律子（環境省 環境再生・資源循環局 特定廃棄物対策担当参事官室 総括参事官補佐
（併任）福島地方環境事務所 総務部 調整官（復興担当））

事例報告1 産業創成への取組（仮題） 飛田 実（DOWAエコシステム（株）代表取締役社長）

事例報告2 地域活性化への取組（仮題） 森田 重光（環境省 福島地方環境事務所 総務部 渉外広報課長）

3. パネルディスカッション「福島の復興と未来について」

モデレーター 大原 利真（国立環境研究所 福島支部 フェロー）

パネリスト 伊藤 泰夫（（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構 専務理事兼事務局長）

遠藤 秀文（（株）ふたば 代表取締役）

黒沢 知子（新地町 企画振興課 主任主査）

須藤 治（（公社）福島相双復興推進機構 専務理事）

飛田 実（DOWAエコシステム（株） 代表取締役社長）

藤田 壮（国立環境研究所 社会環境システム研究センター長）

武藤 淳（（公財）福島県観光物産交流協会 観光部長）

（環境省）



プログラム2

現地見学会（バスツアー） 6月22日（土）8時50分集合

【定員45名】

参加費
無料

いわきワシントンホテル前集合

見学先：中間貯蔵工事情報センター、とみおかワイン葡萄栽培クラブ小浜園場 等

※変更する場合があります。

昼食は
各自負担

シンポジウム

6月21日（金）13時開会
（12時30分開場）

1. 基調報告
2. 福島再生・未来志向プロジェクトの概要
3. パネルディスカッション「福島の復興と未来について」

参加費無料

※シンポジウムの結果は、後日、ホームページで公開します。
当日の撮影・録画等をご遠慮ください。

想定されるキーワード

地域循環共生圏

福島イノベーション・コースト構想

脱炭素まちづくり

特定復興再生拠点

ホープツーリズム

グリーン復興

リスク・コミュニケーション

スマートコミュニティ

営農再開

情報交換会（会費制）

6月21日（金）17時開会
会費：5,000円

ネットワーク作りのための立食形式での情報交換会を開催。会場（カメリア）では、国立環境研究所福島支部による3D地図の環境プロジェクトマッピング実演やパネル展示等を予定。19時終了予定。



3D地図のイメージ

アクセスマップ



お申込み方法

いずれのプログラムも事前申し込みが必要です

氏名、所属、住所、連絡先（電話番号、メールアドレス）※、参加希望のプログラムを明記の上、電子メールもしくはFAX、郵送にてお申し込みください。なお、見学会に参加される方はシンポジウムにも参加をお願いいたします。
※個人情報には本業務にのみ利用します。

【申込み/問い合わせ】 環境省環境再生・資源循環局特定廃棄物対策担当参事官室 未来志向担当

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL 03-3581-2788 FAX 03-3581-3525 E-mail mirai_shikou@env.go.jp

【申込締切】 令和元年6月14日（金）まで（先着順） http://www.env.go.jp/recycle/post_43.html